

## 歴史総合 「I.産業革命」を学ぶにあたって 教材解説及び授業の進め方の例

「0-1 「歴史総合の教材について」の内容を、教材の項目を見ながら読めるようにしました。どのような教材が用意されているか、授業の流れとともに確認できるので、どうぞ参考になさってください。

### 第I単元「産業革命」教材一覧

I	産業革命	歴I-1	学ぶにあたって
		歴I-2.1	テキスト
		歴I-2.2	予習プリント
		歴I-2.3	予習プリント_答え入り
		歴I-3.1	ワークシート
		歴I-3.2	ワークシート_答え入り
		歴I-3.3	視覚補助教材
		歴I-4.1	資料を読みとろう
		歴I-4.2	資料を読みとろう_答え入り
		歴I-5	漢字テスト
		歴I-6.1	重要語句説明
		歴I-6.2	確認テスト

**歴I-1「学ぶにあたって」**

教材一覧及び教材の概略説明 1~7 頁  
本単元の概要や注意点 8 頁

項目

「学ぶにあたって」(本教材)の8頁以降に、本単元の概要や注意点が記述してあります。

1 産業革命の扱いの範囲  
2 1学期の最初の時期の授業  
3. 既有知識の違い

解説

教材のタイトルを表します

空色は  
教師用資料であることを示します

この教材の主な項目(見出し)を載せました。教材が取り上げている内容がわかります。

この教材に関する解説が載せてあります。授業で使用する際の参考になさってください。

歴史総合「I.産業革命」を学ぶにあたって  
教材解説及び授業の進め方の例

「0-1 「歴史総合の教材について」の内容を、教材の項目を見ながら読めるようにしました。どのような教材が用意されているか、授業の流れとともに確認できるので、どうぞ参考になさってください。

印字見本

	歴I-1	学ぶにあたって	
	歴I-2.1	テキスト	

この教材のプリントアウトの一部をペーストしました。紙幅の都合上、小さくなり、見づらいと思いますが、解説を読む際の参考になさってください。



歴Ⅰ-3.1「ワークシート」 歴Ⅰ-3.2「ワークシート_答え入り」	
<p><b>Ⅰ 産業革命</b></p> <p style="text-align: right; border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px;">項目</p> <p>考えよう ①</p> <p>Q1 産業革命って、なに？ Q2 産業革命は、なぜイギリスで始まったのか。 Q3 産業革命は、社会や生活をどう変えたか。</p> <p>① → 【1】産業革命→現代の世界に変わるきっかけ Q1 産業革命って、なに？ 【2】産業革命の流れ/動き 【3】イギリスで産業革命が始まった理由 【4】産業革命で何が変わった？</p> <p>① → Q2 産業革命は、なぜイギリスで始まったのか。 Q3 産業革命は、社会や生活をどう変えたか。</p>	<p style="text-align: center;">                         歴史総合 Ⅰ. 産業革命 ワークシート                          Industrial Revolution                          ( )月( )日( )年( )組 名前 ( <span style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px;">印字見本</span> )                     </p> <p>考えよう</p> <p style="border: 1px dashed gray; padding: 5px;">                         Q1: 産業革命って、何？                          Q2: 産業革命はなぜイギリスで始まったのか？                          Q3: 産業革命は、社会や生活をどう変えたか？                     </p> <p>【1】産業革命→現代の世界に変わるきっかけ</p> <p>                         capital (つか) それを使って会社を作る人が <span style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px;">資本家</span> ← ③                          capitalist (せんぶ)                     </p> <p>                         2. 工場の労働者に、働いたお金を全部はあげな                          not pay all the wages worker worked for                          ( )のところに残す。←                          capitalist (のこ) keep                     </p> <p>                         3. 前より増えたお金 (= 資本) を使って、もっと                          increased capital                     </p> <p>                         (3) 働く人の <span style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px;">環境が悪い</span> ← ②                          environment bad                     </p>

●「ワークシート」を使って、教室授業を進めます。

「3.1 ワークシート」は、学習者配付用です。

「3.2 ワークシート\_答え入り」は、教師用です。授業終了後に、生徒の確認用に配ってもいいでしょう。

第Ⅴ単元「世界恐慌・ファシズム」の「ワークシート\_答え入り」には、模範解答のほか、注記事項が記してあるので、参考になさってください。

●「考えよう」の役割 ← ①

この単元で考えてほしい最も基本的な課題を掲げたものです。「ワークシート」の最後に、各自が課題について理解できたことを、日本語や生徒の得意な言語でまとめる欄があります。授業担当の先生が知らない言語でも、スマホのカメラ入力翻訳ソフト(Google Lenz 等)を使えば、生徒が書いてきた内容をチェックすることができます。

●教師の役割

教師が一方向的にレクチャーする形ではなく、「考えよう」に掲げた本質的な問いに取り組ませ、意見を言わせながら、対話的な深い学びに結びつけることが肝要です。

授業の中で、教師と対話しつつ、基本事項が書き込めるように( )を設けています。生徒から( )内に入ることをばを口頭で引き出せるとよいでしょう。

●ワークシートのルビと訳語について

歴史を学習する上では重要な語句ではあっても、JSL 生徒が使用している初級レベルの日本語教科書(『みんなの日本語』など)では扱わない語(例: 戦場、生産など)には、ルビと英訳をつけました。学習者が辞書で調べる負担を減らし、授業内容に集中してもらうためです。

●「5.漢字(読み)テスト」との連動

ワークシートに下線がついている語句は、「漢字読みテスト」の出題対象となっていることを示しています。

●「6.1.重要語句説明」「6.2 確認テスト」との連動

ワークシートに   がついている語句は、「6.1 重要語句説明」に詳しい説明があることを生徒に説明してください。また、「6.2 確認テスト」の対象となっていることを示しています。

解説

歴Ⅰ-4.1「資料を読み取ろう」  
歴Ⅰ.4.2「資料を読み取ろう\_答え入り」

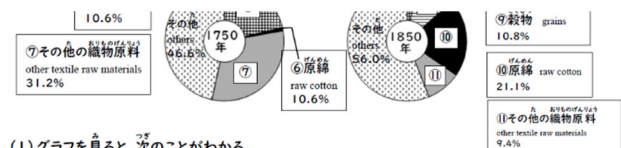
## 資料を読み取ろう

- (1) グラフとみると、次のことがわかる **項目**  
(2) ここから、産業革命によって、イギリスの工業が次のように変わったことがわかる。

## 印字見本 2

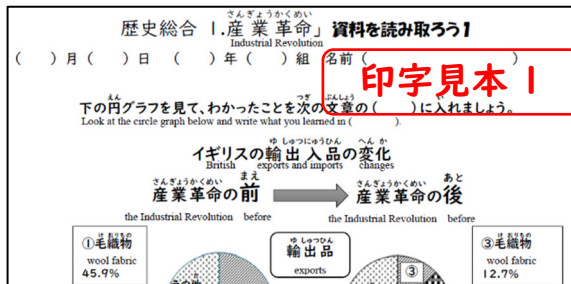
歴史総合 1. 産業革命「資料を読み取ろう」 解答例  
Industrial Revolution  
( )月( )日( )年( )組 名前( )

下の円グラフを見て、わかったことを次の文章の( )に入れてください。  
Look at the circle graph below and write what you learned in ( ).

イギリスの輸出入品の変化  
British exports and imports changes

(1) グラフを見ると、次のことがわかる。

1. 輸出品は、産業革命の前は(毛織物)が多かったが、産業革命の後には(綿製品)が多くなった。



## ●「主体的・対話的な学び」につながる教材

## 解説

写真・図表・地図の読み取りなどが、「主体的・対話的な学び」のキーになることが多くあるため、用意した教材です。日本語力の不十分さを補う工夫をすることで、こうした活動も可能になります。

## ●JSL生徒の日本語力の不十分さを補う工夫

- ・読み取りの支援—史資料の中に出てくる文字のルビと意味、英語訳などをつけました。
- ・発表への支援—読み取った内容を発表するときに、日本語の表現がわからないことがよくあります。そのため、( )に読み取った語句を入れれば発表ができるようになりました。

## ●活発な教室活動につなげる工夫

- ・授業で使用している教科書の資料に合わせて、先生方が教材を作成することがもっとも望ましいと考えます。その際に、上記の読み取りや発表への支援をしていただければ活発な教室活動が可能になります。

本単元は、学期初めの授業に当たるため、生徒の日本語力・既有知識の把握に本教材を役立て下さい。

2.1 テキスト — 「やさしい日本語」で記述されたテキストをどの程度音読できるか。【読む力】

2.2 予習プリント

【読む力】【書く力】

- ・内容が理解できているか。
- ・テキストのどの部分を見れば(読めば)、解答することができるか、生徒がわかっているか。
- ・どの程度、日本語を書くことができるのか

3.1 ワークシート 4.1 資料を読み取ろう

【書く力】【話す力】

- ・書き取ったことをもとに発表することができるか

本教材 8 頁「2.1 学期の最初の時期の授業」をご参照ください。

## 歴 I -5「漢字テスト」

## 印字見本 1

歴史総合 漢字テスト | 産業革命

( ) 月 ( ) 日 ( ) 年 ( ) 組 名前 ( )

1. 鉄道や車を使う。      2. 太陽の動きと天気で決める。  
 railroad    car    use                      the sun                      weather    decide

3. インドの綿織物は、軽くて、美しい。もっと安く作りたい。  
 light                      beautiful                      cheap

## 印字見本 2

歴史総合 漢字テスト | 産業革命 解答

( ) 月 ( ) 日 ( ) 年 ( ) 組 名前 ( )

1. 鉄道や車を使う。      2. 太陽の動きと天気で決める。  
 てつどう    くるま                      たいよう                      てんき  
 railroad    car    use                      the sun                      weather    decide

3. インドの綿織物は、軽くて、美しい。もっと安く作りたい。  
 かる                      うつく                      やす  
 light                      beautiful                      cheap

## 解説

## ●漢字の定着を図るための「漢字(読み)テスト」

漢字の読み書きができることは教科の学習には非常に重要です。JSL生徒は、日常生活で使われる漢字は、日本語教科書(『みんなの日本語』など)で学びますが、教科学習の漢字は、日本語教科書では習わないことが多く、しかも、日常生活では使用頻度が低いため、定着が困難です。

漢字の定着には、教科学習の文脈の中で漢字や語句の「意味」「読み」「形」を結びつけて覚えるのが効果的です。

## ●「漢字(読み)テスト」の対象となる語句

本教材の「3-1.ワークシート」の下線部分の語句です。本資料3頁の「3.1ワークシート」の解説をご参照ください。

## ●漢字学習の方法

①授業の終わりに生徒に「漢字クイズ解答(印字見本2)」を渡す。

紙の節約のため、また、以下の②がやりやすいよう、A4サイズ1枚にテスト用(印字見本1)と解答(印字見本)2を印刷したので、切り離さず両方渡してもよい。

②生徒には、「漢字クイズ解答」をスマホに写真で取り込み、通学や空き時間に「見て覚える」よう促す。

③「鉄道:てつどう」と読みだけを覚えるのではなく、テストの対象となっていない漢字にもルビを付けたので、文の意味も自分で調べた上で覚えることを勧める。

## ●テスト実施

「印字見本1」を印刷して、次回の授業の初めに小テストとして行う。

## ●漢字解答のルビ振りの注意

・ルビは単漢字ごとに(「文字単位」で)振る。(漢字になじみがない生徒は「歴史」を「歴史」と書く間違いも生じます)

・生徒はルビを読んで学習します。本教材を参考に、先生ご自身が漢字テストを作成される場合は、ルビのポイントを大きくすると、濁点の有無、拗音・撥音等小さい文字の判別がしやすくなります。

## 歴Ⅰ-6.1「重要語句説明」

## 印字見本

3.1 [ワークシート] の  
 で囲まれたことばの説明です。

れきし そうごう      さんぎょうかくめい      じゅうよう ごく せつめい  
 歴史総合   1.産業革命   6.1重要語句説明  
 Industrial Revolution

No.	語句	説明
1	しほん 資本  capital  資本	きぎょう せいさん      ひつよう かね      こうじょう きかい 企業が生産をするために必要なお金。または、工場、機械な どの生産設備。  Money required for a company to produce. Or production facilities, such as factories, machinery, etc.  一个公司生产所需的资金。或生产设施，如工厂、机器等。

## ●「重要語句」とは？

## 解説

生徒が意味を理解することが必要な歴史用語のこと。日本語、英語、中国語で説明文を作成しました。

「3.1 ワークシート」では、重要語句を  で囲んであります。

## ●「重要語句説明」の使用言語

- ・「やさしい日本語」
- ・英語
- ・中国語

歴史的事項の説明は正確さを要することから、「やさしい日本語」だけでは意味が伝わりにくいため、英語訳に加え、中国語訳もつけた。

## ●「重要語句説明」の使い方

①授業、特に「3.1 ワークシート」を利用した授業で、重要語句が出てくるたびに意味の確認に使うことを想定しています。

## 歴Ⅰ-6.2「確認テスト」

重要語句を覚えたか、説明ができるか、教師・生徒が確認できるよう、「確認テスト」を3種類用意しました。

## 歴Ⅰ 総合 1. 産業革命 6.2 確認テスト(1)

## 印字見本

## 解説

「6.1 重要語句説明」のプリントで勉強しましたか。説明を読んで、どのことばの説明か、正しいことばを次のページの  から選んで、その記号(ア~カ)を答えの欄に書きなさい。

No.	説明	答え
1	企業が生産するために必要なお金。または、工場、機械などの生産設備。 Money required for a company to produce. Or production facilities, such as factories, machinery, etc. 一个公司生产所需的资金。或生产设施，如工厂、机器等。	

どのことばの説明ですか。下から正しいことばを選んで、その記号(ア~カ)を答えの欄に書きなさい。

ア)階級 イ)資本 ウ)資本家 エ)資本主義 オ)社会主義 カ)植民地

## 確認テスト(1)

- ・日本語初級者向け
- ・説明を読んで該当する語の記号(ア、イ、ウなど)を書く形式。
- ・カタカナは、自分の名前以外読めない、書けないことが多いため、カタカナに触れる機会が少しでも増えるよう、記号は、a,b,c などではなく、カタカナにしました。

## 歴Ⅰ 総合 1. 産業革命 6.2 確認テスト(2)

どのことばの説明ですか。説明を読んで、正しいことばを答えの欄に書きなさい。

No.	説明	答え
1	企業が生産するために必要なお金。または、工場、機械などの生産設備。 Money required for a company to produce. Or production facilities, such as factories, machinery, etc. 一个公司生产所需的资金。或生产设施，如工厂、机器等。	

## 確認テスト(2)

- ・日本語中級者向け
- ・説明を読んで、該当する重要語句を書く形式。

## 歴Ⅰ 総合 1. 産業革命 6.2 確認テスト(3)

ことばの説明を答えの欄に書きなさい。

No.	語句	答え
1	しほん 資本  capital	

## 確認テスト(3)

- ・日本語上級者向け
- ・重要語句を見て、その説明を書く形式。
- ・生徒の母語で書いてもよい。ただし、教師が内容をチェックする場合は、翻訳ソフトに付ける必要がある。

## 歴史総合 | 産業革命 を学ぶにあたって

### 1. 産業革命の扱いの範囲

教科書によって、この単元で第二次産業革命までまとめて学ぶ構成になっているものもありますが、ここでは、最初のイギリスの産業革命の開始に限定しました。

内容で取り上げる事項は、各社の教科書を参照し、どの教科書にも記述があることだけ取り上げました。一部の詳しい教科書にだけある記述は省いています。

### 2. 1 学期の最初の時期の授業

最初に扱う教材は、できるだけ多くの生徒が理解できるように日本語も内容もやさしく作りました。1 学期の間は、生徒たちの日本語力の様子を見ながらの授業になると思います。

「やさしい日本語版テキスト」を生徒に読ませる（読みの力）わかったことを発表させる（話す力）記入したワークシートを確認する（書く力）など、生徒の現状をつかんでください。

必要がなければ漢字のルビを取る、漢字クイズのレベルを上げるなど、生徒に合わせてプリントを手直しして、授業を調整してください。

### 3. 既有知識の違い

世界史に関する勉強を母国でしてきた生徒としていない生徒、中学校の歴史がわからなかった生徒など、状況はさまざまです。「やさしい日本語版テキスト」を授業前に配付して宿題として「予習プリント」に取り組むようにして、生徒たちが一定の同じ知識をもって授業に参加できるようにしておくことが有効です。

「やさしい日本語版」で読み取れなくて、かつ英語を学んでいない生徒は、英語版からスマホのカメラ入力機械翻訳で読み取る方法を早いうちに練習させてください。

### 4. 「資料を読み取ろう」の活用

日本語が不十分だと、どうしても先生が説明し、その話を理解することに生徒たちも集中して、アウトプットの活動が不足しがちです。歴史総合の時間にわかったことや意見を発表するのは、生徒にも負担が大きい活動ですが、ワークシートにたくさんの補助を入れていますので、活用して、ぜひ生徒たちがたくさん発言できる授業を行ってください。